

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4831402号
(P4831402)

(45) 発行日 平成23年12月7日(2011.12.7)

(24) 登録日 平成23年9月30日(2011.9.30)

(51) Int.Cl.

F I

E O 4 B 2/74 (2006.01)

E O 4 B 2/74 5 6 1 L

請求項の数 4 (全 7 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2005-282499 (P2005-282499) (22) 出願日 平成17年9月28日 (2005.9.28) (65) 公開番号 特開2007-92373 (P2007-92373A) (43) 公開日 平成19年4月12日 (2007.4.12) 審査請求日 平成20年9月11日 (2008.9.11)</p>	<p>(73) 特許権者 000105693 コマニー株式会社 石川県小松市工業団地1丁目93番地 (74) 代理人 100087169 弁理士 平崎 彦治 (72) 発明者 陣出 欣憲 石川県小松市工業団地1丁目93番地 コ マニー株式会社内 審査官 新田 亮二 (56) 参考文献 実開平06-032512 (JP, U) 登録実用新案第3044887 (JP, U) 最終頁に続く</p>
--	---

(54) 【発明の名称】 ローパーティションのブラケット取付け構造及びブラケット

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ローパーティションを構成するパネルが転倒しないように支持するブラケットの取付け構造において、上記パネルを適当な高さに支えるアジャスターの座部をブラケットの中央部底に設けた凹部に嵌め、しかも凹部中心から外側にかけて上記アジャスターのネジ部が挿通するスリット溝を設け、そして座部を円錐形としてその外周面には凹溝と凸片を交互に形成し、一方のブラケット凹部形状をすり鉢形としてその内周面にも凹溝と凸片を交互に形成し、上記凹溝と凸片が互いに噛合った状態で座部が凹部に嵌合したことを特徴とするローパーティションのブラケット取付け構造。

【請求項2】

ローパーティションを構成するパネルが転倒しないように支持するブラケットの取付け構造において、上記パネルを適当な高さに支えるアジャスターの座部をブラケットの中央部底に設けた凹部に嵌め、しかも凹部中心から外側にかけて上記アジャスターのネジ部が挿通するスリット溝を設け、該ネジ部にはナットを螺合して該ブラケットに締め付け、そして座部を円錐形としてその外周面には凹溝と凸片を交互に形成し、一方のブラケット凹部形状をすり鉢形としてその内周面にも凹溝と凸片を交互に形成し、上記凹溝と凸片が互いに噛合った状態で座部が凹部に嵌合したことを特徴とするローパーティションのブラケット取付け構造。

【請求項3】

上記ブラケットを床面にネジ止めした請求項1、又は請求項2記載のローパーティション

のブラケット取付け構造。

【請求項 4】

ローパーティションを構成するパネルが転倒しないように支持するブラケットにおいて、該ブラケットは細長い板状体を成し、その中央部の底にはパネルを適当な高さに支持するアジャスターの座部が嵌るすり鉢形の凹部を設けると共に該凹部中心から外側に連通するスリット溝をアジャスターのネジ部に相当する寸法にて形成し、そして凹部内周面には凹溝と凸片を交互に形成したことを特徴とするローパーティションのブラケット。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は私的な小空間を仕切るために用いるローパーティションが転倒しないように脚部に設けるブラケットの取付け構造及び該ブラケットに関するものである。

【背景技術】

【0002】

ローパーティションの形態も色々あるが、基本的には床面に配置されて周りを囲むようにパネルを起立している。従って、該パネルの高さは低くて天井までは届かない寸法と成っている為に不安定であり、揺れたり時には転倒する可能性がある。そこで、この転倒を防止する為にパネル下端部にブラケット(安定脚)を取付けている。

20

【0003】

特開 2003 - 129595 号に係る「間仕切りパネルの安定脚取付装置」は、間仕切りパネルに安定脚を、少数の部品を持って、所定の位置に、確実かつ簡単に取付られるものであり、「前面より、上下方向の狭幅の挿入溝と、その奥に連なる上下方向の幅広の係合溝とを設けた間仕切りパネルの支柱の前面において、挿入溝と係合溝に上下摺動可能に嵌合しうる狭幅の連片と広幅の係止片を備える取付ブロックを、側面視前向 L 形を成す安定脚の後端における垂直杆の後面に設けた凹入孔に嵌合し、垂直杆の前方より挿入した取付ビスを、取付ブロックに螺合することにより、取付ブロックを前方へ引き寄せ、その後端の係止片をもって、支柱の前方を狭圧させて、取付ブロックを固定する。」

30

この「間仕切りパネルの安定脚取付装置」では L 形安定脚が用いられ、その垂直杆が支柱に沿って固定される為に外観が損なわれる。また、支柱には挿入溝及び係合溝が全長にわたって設けられ、該挿入溝は表面化する。この点も、ローパーティションの外観を損なう一因と成っている。そして、上記係合溝に嵌めて支柱と安定脚を連結する為の取付ブロックが必要であり、該安定脚だけでは取付出来ず、部品点数の増加はコスト高をもたらす。

【0004】

特開平 11 - 22074 号に係る「パネル状パーティションの安定脚装置」は、パーティションの支柱を、ぐら付くことなく安定して強固に床に固定するものであり、「締め付け具及びフック部材の傾斜面は支柱から離間するにつれ上方に傾斜する傾斜面となっており、上記締め付けネジを回転すると、締め付け具はフック部材を押圧し、フック部材は下方かつ外側に移動され、コーナー補強部材を支柱に対し強固に固定するように働く。」

40

しかし、この安定脚装置では安定板、コーナー補強部材、フック部材、ネジ受部材、締め付け具を備える必要があり、部品点数が多くて構造は複雑化すると共に製造コストは高く、一方では据え付けられるローパーティションの外観を安定装置が阻害する形態と成っている。

【特許文献 1】特開平 11 - 22074 号に係る「パネル状パーティションの安定脚装置」

【特許文献 2】特開 2003 - 129595 号に係る「間仕切りパネルの安定脚取付装置」

50

J

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

このように、従来のローパーティションが転倒しないように備える安定装置には上記のごとき問題がある。本発明が解決しようとする課題はこれら問題点であり、簡単な構造で外観も良くてコストも安いローパーティションのブラケット、及び該ブラケットの取付け構造を提供する。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明に係るローパーティションのブラケット取付け構造は、パネルを支えるアジャスターにブラケットが取付けられる。アジャスターはネジ部と座部を有し、ネジ部は座部から垂直に起立し、座部は円錐形又は角錐形等の形状をしている。そして、座部の傾斜外面には必要に応じて凹凸の溝が形成されている。一方のブラケットは細長い板状体であり、上記アジャスターの座部と係合する為の凹部が中央部の底に形成され、該凹部中心からは外側に連通するスリット溝が切欠かれている。そして、同じく凹部内周面にも凹凸溝が必要に応じて形成され、座部の凹凸溝と互いに噛合うことが出来る。

【0007】

スリット溝の幅はアジャスターのネジ部が嵌る寸法である。そこで、ローパーティションのパネル下端に取付けられて該パネルを適当な高さで支えるアジャスターのネジ部にブラケットのスリット溝を嵌め、床面まで降ろすと共に凹部には座部を嵌合する。そして、ブラケットは床面に必要に応じてネジ止めされ、又はネジ部に螺合したナットにてブラケットを上部から締め付けることも可能と成る。

【0008】

ところで、ブラケット中央部底に形成される凹部の形状は何もすり鉢形に限定するものではなく、角形の凹部、角錐形凹部などとする事が出来、その場合にはアジャスターの座部のそれに適合する形状としている。

【発明の効果】

【0009】

本発明に係るブラケット取付け構造は、アジャスターの座部とブラケット凹部が嵌合した状態で床面にネジ止めする構造であり、従来のような概略L形ブラケットに比較してスマートであり、ローパーティションの外観が損なわれることはない。そして、該ブラケットの取付け構造が簡単であるために、製作コストは安くなると共に、アジャスターへの取付け作業も容易である。

【0010】

すなわち、先端のスリット溝にネジ部を嵌めて床面に降ろすことで座部は凹部と嵌合し、この状態で該ブラケットを床にネジ止めすることが出来る。そして、ブラケット凹部には凹凸が形成され、円錐形座部の凹凸と互いに噛合うことが出来るために、アジャスターの座部を該ブラケットを介して床面に安定して固定することが可能と成る。

【0011】

ひいては、ローパーティションは安定して起立することが出来る。アジャスターの座部をブラケット凹部に嵌めると共に、座部外周面及び凹部内周面に形成した凹凸が互いに噛合うようにし、さらにネジ部に螺合したナットにてブラケット中央部を締め付けるならば、アジャスターとブラケットは一体化した構造と成り、ローパーティションの安定性は一段と向上する。

【実施例】

【0012】

図1はアジャスターを示す実施例であり、同図の1はネジ部、2は座部を表し、ネジ部1は座部2から垂直上方へ延びている。ネジ部1にはネジが設けられ、座部2は円錐形をして、その傾斜した外周面は凹凸形状と成っている。すなわち、中心から外周に向けて複数の

10

20

30

40

50

凸片 3 , 3 . . . 及び凹溝 4 , 4 . . . が一定間隔で形成されている。

【 0 0 1 3 】

図2はブラケットの具体例であり、(a)は平面図、(b)は正面図、(c)は底面図、(d)は側面図を夫々表している。該ブラケットは細長い板状体であって、中央部 5 の底面には凹部6が設けられ、凹部6の形状は円錐形のすり鉢型と成っている。そして、該凹部 6 の中心から外側 8 に向けてスリット溝7が切欠かれている。又、凹部 6 の傾斜内面には複数の凹溝 9 , 9 . . . と凸片 1 0 , 1 0 . . . が等間隔で形成されている。ここで、ブラケットの材質は限定しないが、一般にはアルミ合金ダイキャスト製のものが使用される。

【 0 0 1 4 】

該ブラケットは前記図1に示すアジャスターの座部 2 に凹部6を嵌合して床面にネジ止めされるが、ネジが挿通する為の穴 1 1 , 1 1 . . . が両端部 1 2 , 1 2 と中央部 5 に設けられている。アジャスターはローパーティションのパネルを適当な高さに支え、該パネルが転倒しないように該アジャスターの座部 2 をブラケットを介して床面に押圧・固定する。

【 0 0 1 5 】

図 3 はアジャスター A にブラケット B を取付ける場合を示している。(a)はアジャスター A が床面 1 3 から起立し、パネル 1 4 を適当な高さに支持している場合である。ここで、パネル 1 4 とアジャスター A との具体的な連結構造は限定しないことにするが、パネル下端に設けているネジ穴に螺合して適当な高さに支えられる。勿論、パネル下端ではなく、該パネルが連結するスタッド下端にアジャスター A を取付けて支持することも可能である。

【 0 0 1 6 】

(b)はブラケット B をネジ部 1 に挿入した場合である。ブラケット B の中央部 5 には外側 8 と連通するスリット溝 7 が設けられ、このスリット溝 7 にネジ部 1 が挿入される。このように、パネル 1 4 を適当な高さに調整した後でブラケット B を簡単に取付けることが可能である。

【 0 0 1 7 】

(c)はブラケット B を降下して床面 1 3 に配置した場合である。ブラケット B の中央部 5 には凹部 6 が底面に設けられ、この凹部 6 にアジャスター A の座部 2 が嵌合する。そして凹部 6 の内周面には複数の凹溝 9 , 9 . . . と凸片 1 0 , 1 0 . . . が交互に形成され、該凹溝 9 , 9 . . . には座部 2 の外周面に形成した凸片 3 , 3 . . . が嵌り、凸片 1 0 , 1 0 . . . は座部 2 の凹溝 4 , 4 . . . に嵌合することが出来る。

【 0 0 1 8 】

このように凹部 6 に座部 2 が嵌合すると共に、凹溝 9 , 9 . . . と凸片 1 0 , 1 0 . . . が凸片 3 , 3 . . . と凹溝 4 , 4 . . . に噛合うことで、ブラケット B を床面にネジ止めするならば該座部 2 も床面に固定される。すなわち、座部 2 と凹部 6 との間に滑りが発生することはなく、アジャスター A は安定して起立し、パネル 1 2 の転倒を防止することが出来る。そして、振動の影響でアジャスター A が回転して支持されているパネル 1 4 の高さが変化することもない。

【 0 0 1 9 】

図 4 は本発明に係るブラケット B の取付け構造を示す別形態である。この実施例ではアジャスター A のネジ部 1 にナット 1 5 を螺合し、ブラケット B の中央部 5 を締め付けることが出来る。すなわち、座部 2 はブラケット中央部の底に形成した凹部 6 に嵌って固定されるが、さらにナット 1 5 を締め付けることで、座部 2 と凹部 6 との嵌合状態はより強固となり、ブラケット B と一体化される。

【 0 0 2 0 】

図 4 に示す実施例では、図 3 の場合と同じくブラケット B を床面 1 3 にネジ止めしているが、ナット 1 5 を締め付けることでアジャスター A とブラケット B は連結・固定されて一体化するために、床面にネジ止めしなくてもパネルの転倒防止を図ることは可能である。また、アジャスター A の座部 2 の外周面に凹溝 4 , 4 . . . 、凸片 3 , 3 . . . 、及びブラケット B の凹部 6 の内周面に凹溝 9 , 9 . . . 、凸片 1 0 , 1 0 . . . を形成しなくてもナッ

10

20

30

40

50

ト 1 5 を締め付けることで強固に固定することが可能と成る。従って、本発明では凹溝及び凸片を形成しない場合も含める。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 1 】

【図 1】アジャスターを示す具体例。

【図 2】ブラケットの具体例。

【図 3】本発明に係るブラケットの取付け方法及び取付け構造。

【図 4】本発明に係るブラケットの取付け方法及び取付け構造。

【符号の説明】

【 0 0 2 2 】

- 1 ネジ部
- 2 座部
- 3 凸片
- 4 凹溝
- 5 中央部
- 6 凹部
- 7 スリット溝
- 8 外側
- 9 凹溝
- 10 凸片
- 11 穴
- 12 端部
- 13 床面
- 14 パネル
- 15 ナット

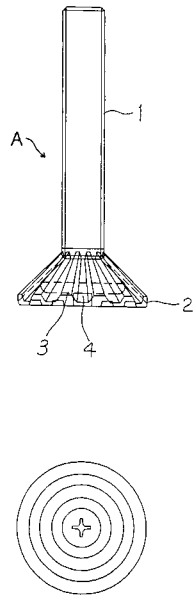
10

20

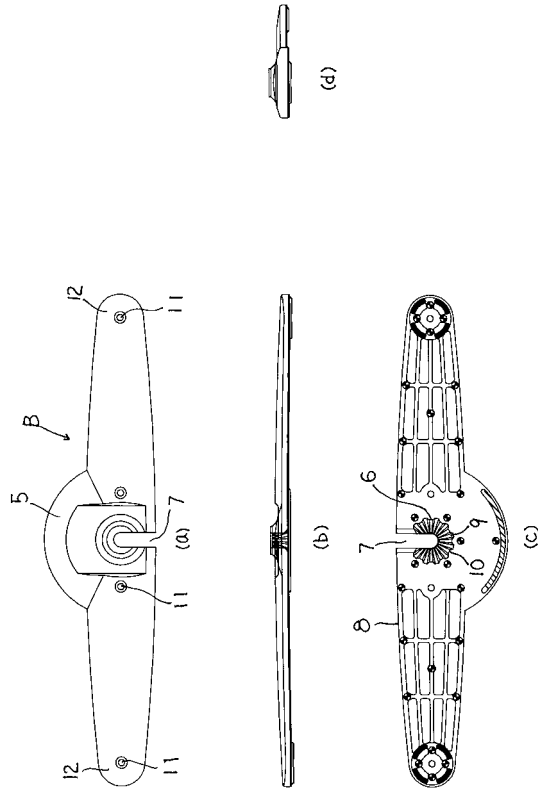
30

40

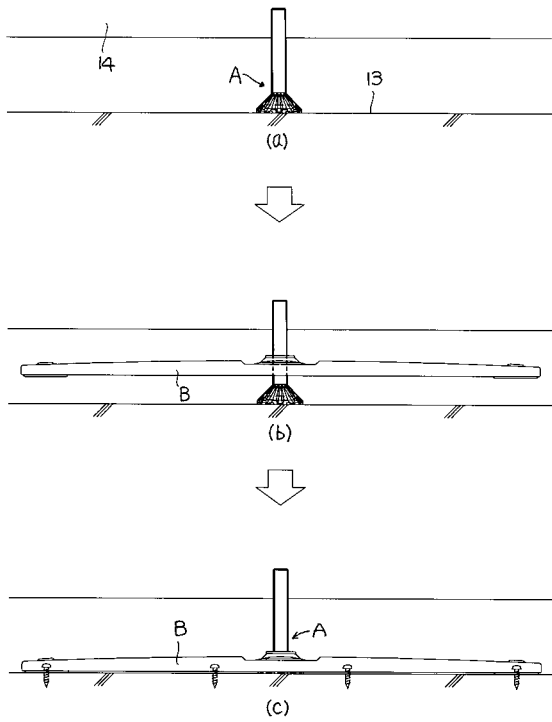
【図1】



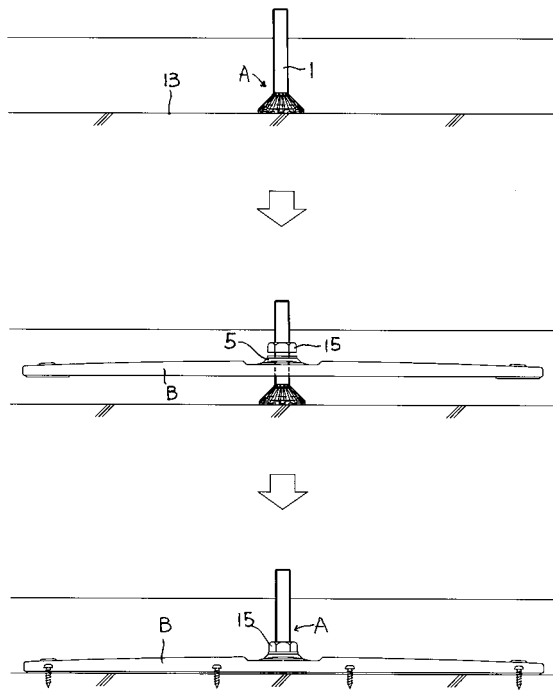
【図2】



【図3】



【図4】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

E 0 4 B	2 / 7 4
A 4 7 G	5 / 0 0